

令和7年度

青森市第三セクター経営評価シート

法人名称	職業訓練法人 青森情報処理開発財団
------	-------------------

市所管部課	経済部 創業・人づくり推進課
-------	----------------

評価区分	法人名、市所管部（課）名	評価者の役職・氏名
第一次評価	職業訓練法人 青森情報処理開発財団	理事長 西 秀記
第二次評価	経済部 創業・人づくり推進課	経済部理事 工藤 拓実

I 経営評価表

◎基本的視点1：公共性・公益性の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	目的適合性（設立目的の検証、事業主体の妥当性、事業の必要性、市施策への貢献度）	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	デジタル社会の進展や市政策の推進の中で、法人設立時の意義は一層高まっている。 また、就職の状況から優秀な情報処理技能者を多数輩出している本校への地元企業のニーズも高いことから、低廉な費用で充実した職業訓練を受けられる第3セクターとしての役割は高いものとする。	情報処理技能者を養成する職業訓練施設として、地元企業への高い就職率を維持しており、本市経済の活性化に貢献している。
今後の 取組方針	情報処理技能者を養成する職業訓練施設として、効果的な訓練指導、地元主体の就職活動等、魅力・特色のある運営を行う。	国、県等の関係機関と連携を密にし、情報処理技能者を養成する職業訓練施設としての運営の指導をしていく。

◎基本的視点2：効果的・効率的な事業の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	効率性・効果性（事業実施手法等の見直し、経費の見直し）	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	高校や企業の訪問等を通じて把握した地域ニーズをカリキュラム等の見直しに反映させ、効果的な職業訓練に取り組んでいる。 また、オープンキャンパスやイベント等の魅力向上により集客アップを図り、令和2年度以降は定員充足率（120名で100%）が100%以上となっている。 ※R6定員充足率：101.7%（1年66名、2年56名）	カリキュラム等の見直しなどにより、目標を上回る国家資格取得率や高い就職率が維持されている。 また、高校訪問体制の強化や新しいカリキュラムのPR等に取り組んだ結果、令和6年度の定員充足率は101.7%となっているものの、令和5年度より9.1ポイント下落しており、今後においても、入学生確保に向けた取組が必要であると考えている。
今後の 取組方針	esportsクリエイト専攻に関連するイベントの開催や、webデザイナー向けの授業の強化を行い、そのPRの強化にも努めることで学生募集に繋げ、経営基盤の安定、強化を図る。	来年度以降も効果的・効率的な事業を行うことができるよう、地域ニーズに即したカリキュラムによる職業訓練の実施とともに、入学生の安定的な確保に向けた取組の一層の強化を働きかけていく。

◎基本的視点3：独立した経営体としての視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	組織運営の健全性（経営マネジメントの検証、個人情報の保護、再委託の見直し）	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	経営状況、経営方針、経営課題等は年度初めを含め、定期的あるいは随時職員に周知するなど組織運営の健全性強化に努めている。	経営戦略プランに基づき、PDCAサイクルの活用による業務運営の見直しや適正な人員配置及び人材育成に努めるとともに、個人情報の保護に関する規定を整備するなど、健全な組織運営に取り組んでいる。
今後の 取組方針	健全な組織運営を維持するため、PDCAサイクルを強化し、諸規定の見直しを随時行うなどの取組を行っていく。	健全な組織運営の維持に向けた取組の一層の強化を働きかけていく。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	財務の健全性（財務環境、資産運用の適正性、財務諸表の適正性）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	最重点課題として各種学生募集策を実施した結果、令和2年度～令和5年度は定員充足率が100%以上となり、財務内容も大幅に改善された（令和2年度+12,248千円、令和3年度+17,820千円、令和4年度+14,832千円、令和5年度+4,820千円）が、令和6年度は、大雪による除排雪費の増加等により2,128千円の赤字となった。 引き続き、財務基盤安定のため、学生募集を最重要事項として取り組む。	令和6年度は、大雪による除排雪費の増加等により2,128千円の赤字となった。来年度以降、黒字を目指すためには、財政基盤の安定に向けた入学生の確保が最重要事項であると考えている。
今後の 取組方針	学生募集施策である、魅力の向上とPRの強化に努め、経営戦略プランの入学生目標値（62名）を確保することで、安定した財務基盤を維持する。	自主財源の確保や経費の抑制を継続するとともに、入学生の安定的な確保に向けた取組の一層の強化を働きかけていく。

令和7年度 青森市第三セクター経営評価シート

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	透明性（情報公開に関する取組）	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	<p>本財団の情報公開規程に基づき公開している。（窓口に設置し閲覧可能） またホームページにて事業報告や決算報告のほか、令和元年度からは事業計画書や収支予算書も公開している。</p>	<p>当該法人において情報公開規定を整備するほか、法人の経営状況等についての情報公開を適正に実施している。</p>
今後の 取組方針	<p>上記を継続する。</p>	<p>適正な情報公開の実施を働きかけていく。</p>

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	自立性（経営に対する市の関与）	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	<p>経営は財団主体で取り組んでいる。 市からの補助金も平成22年度より廃止となった。</p>	<p>当該法人が主体となって、経営に取り組んでいる。</p>
今後の 取組方針	<p>財団主体の経営を継続し自主財源である安定した入学生の確保に努め、事業の継続・発展を図る。</p>	<p>少子化の進展や大学進学率の向上などの社会環境の変化に対応し、自主財源の確保や経費削減等を通じた健全な経営が維持できるよう働きかけていく。</p>

Ⅱ 法人の今後のあり方に関する取組状況

〔「青森市第三セクターに関する基本方針（平成22年10月）」に掲げた取組予定及び「青森市第三セクターの経営評価指針」（令和6年9月改訂）に記載している「経営戦略プラン」の策定等〕

作 業 事 項	実施主体	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度 以降
経営戦略プランの策定、公表	法人	●	—	—	—	—	—	—	▶
経営戦略プランの実施（3か年）	法人	●	—	—	—	—	—	—	▶
今後の動向をふまえた法人のあり方	市・法人	継続検討							

〔取組実績・進捗評価〕

主体	取 組 実 績 (取 組 内 容)	進捗評価							
		H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
法人	経営戦略プランの策定、公表			◎			◎		
	経営戦略プラン（3か年）の実施	○	○	◎	○	○	◎	○	○
市									

【進捗評価凡例】
 ◎：予定どおり実施し終了した
 ○：実施中（着手済み）ではあるが、概ね予定どおりに進んでいる
 △：実施中（着手済み）ではあるが、予定についての取組みがあまりできていない
 ×：取組んでいない（未実施・未着手）

〔進捗評価が「△」「×」の場合〕

法人コメント	市所管部コメント

Ⅲ 付属資料（経営評価に当たっての点検項目）

① 点検結果〔総括〕

経営評価に当たっての 基本的視点	評価項目	点検 項目数	第一次点検結果 (法人点検)	第二次点検結果 (市所管部点検)
1 公共性・公益性の視点	目的適合性	4	◎ : 4 個	◎ : 4 個
			○ : 0 個	○ : 0 個
2 効果的・効率的な事業の視点	効率性・効果性	6	◎ : 5 個	◎ : 5 個
			○ : 1 個	○ : 1 個
3 独立した経営体としての視点	組織運営の健全性	17	◎ : 16 個 ○ : 1 個 × : 0 個	◎ : 16 個 ○ : 1 個 × : 0 個
	財務の健全性	10	◎ : 7 個 ○ : 2 個 × : 1 個	◎ : 7 個 ○ : 2 個 × : 1 個
	透明性	5	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個
	自立性	7	◎ : 6 個 ○ : 1 個 × : 0 個	◎ : 6 個 ○ : 1 個 × : 0 個
合 計		49	◎ : 43 個 ○ : 5 個 × : 1 個	◎ : 43 個 ○ : 5 個 × : 1 個

点検結果の凡例

- ◎ : 妥当である、良好である、対応している、取り組んでいる など
- : 概ね妥当である、概ね良好である、改善の余地がある、一定程度取り組んでいる など
- × : 改善を要する、非常に悪い、不十分であり改善を要する、取り組んでいない など

② 点検表

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果						
		第一次点検		第二次点検				
		前年	今年	前年	今年			
評価項目	(1) 目的適合性							
(ア) 設立目的の検証								
① 設立目的（公益目的・役割）は、現在の社会経済状況に合致しているか（希薄化していないか）	※「×」の場合はその理由を記載							
					◎	◎	◎	◎
◎：すべて合致している（希薄化していない） ×：一部合致していない部分がある（一部希薄化した）								
(イ) 事業主体の妥当性								
② 法人の実施する公益的事業が他の団体（NPO、民間事業者、他第三セクターなど）と競合していないか	※選択理由を記載							
	市内に競合する同種の職業訓練事業者は無く、充実した設備と低廉な授業料で訓練時間2,800時間（2年間）は、民間経営においては難しいものと考えられる。 また、情報処理の実務経験が豊富な教職員を揃え、実践力を培う訓練内容となっており、情報処理の即戦力となる人材育成機関としての地元企業の評価、ニーズも高い。				◎	◎	◎	◎
◎：競合していない、または競合しているが、合理的理由により差別化できる ○：合理的理由はないが、代替は困難である ×：競合しており、代替は比較的容易である								
(ウ) 事業の必要性								
③ 法人の実施している公益的事業に対する市民ニーズは低下していないか	主な点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度				
	訓練生(入学生)数(人)	79	58	65	◎	◎	◎	◎
就職率(%)	92	99	100					
地元就職者の割合(%)	65	77	85					
◎：市民ニーズは非常に高い ○：市民ニーズは概ね高い ×：市民ニーズは低下している、または市民ニーズを把握していない								
(エ) 市施策への貢献度								
④ 第三セクターとして積極的に公益的事業の展開に取り組んでいるか	※主な取組内容等を記載							
	地域社会が求める優秀な人材を輩出し、地域の発展に寄与するため、より高度な知識や技術を持った人材の育成に取り組んでいる。 また、地域ニーズを把握するため、定期的に高校や企業等への訪問を行い、情報収集に努めている。				◎	◎	◎	◎
◎：十分（市の期待以上）取り組んでいる ○：概ね（市の期待どおり）取り組んでいる ×：取り組みが不十分である								

目的適合性 点検結果計（点検項目数：4項目）	◎	4	4	4	4
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次点検		第二次点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(2) : 効率性・効果性							
(ア) 効率性の検証								
① 販売・一般管理費比率は適正か【会社法法人】	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度				
	販売・一般管理費比率 (%)							
<合理的理由>								
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない - : (評価対象外)								
① 管理費比率は適正か【公益法人】	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度				
	管理費比率 (%)	53.6	42.6	50.8				
<合理的理由> 令和6年度から開始している教育機器のリースに伴う減価償却費が管理費全体の58% (R6年度) を占めている。この減価償却費を除いた場合、令和4~6年度の管理費比率は横ばい (36%~40%) で推移している。					◎	○	◎	○
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない - : (評価対象外)								
② 人件費比率は適正か	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度				
	人件費比率 (%)	48.4	59.6	47.0				
<合理的理由>					○	◎	○	◎
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない								
③ 職員1人当たりの収益高	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度				
	職員1人当たりの収益高 (千円)	9,331	6,580	7,688				
<合理的理由>					○	◎	○	◎
◎ : 横ばい、または上昇傾向にある ○ : 低下傾向にあるが、合理的理由がある × : 低下傾向にあり、適正でない								
(イ) 効果性の検証								
④ 市民ニーズの把握に努めているか	※取組事例等を記載							
	高校訪問、企業訪問等を定期的に継続して実施し、地域ニーズの把握に努めている。				◎	◎	◎	◎
◎ : あらゆる機会をとらえ、積極的に調査を行い、把握に努めている ○ : 十分ではないが、必要に応じ把握に努めている × : 不十分であり改善を要する								

具 体 的 点 検 項 目 等	点検結果			
	第一次点検		第二次点検	
	前年	今年	前年	今年
⑤ 事業毎に定量的な目標数値を設定し、達成状況を評価・分析しているか				
◎：すべての事業に定量的な目標を設定し、評価・分析している ○：一部の事業のみに定量的な目標を設定し、評価・分析している ×：ほとんど目標を設定していない、または評価・分析していない	◎	◎	◎	◎
⑥ 事業遂行の効率性向上のため、毎年度事業内容、事業費及び事務処理上の問題点の把握や原因分析を行い、改善を図っているか				
◎：毎年度検証し、積極的に改善・見直しに努めている ○：毎年度検証していないが、必要に応じて改善・見直しに努めている ×：ほとんど検証していない	◎	◎	◎	◎

効率性・効果性 点検結果計（点検項目：6項目）	◎	4	5	4	5
	○	2	1	2	1
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(3) 組織運営の健全性				
(ア) 経営マネジメントの検証					
①	意思決定機関である理事会（取締役会）を適正に開催しているか ◎： 定期に加え、必要の都度機動的に開催している ○： 定期的な開催のみにとどまっている ×： ほとんど開催していない	◎	◎	◎	◎
②	役員報酬・退職金に関する規程を整備し、公表しているか ◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、または策定予定なし	○	○	○	○
③	経営に関する方針や計画を策定しており（明らかにされており）、全職員に周知しているか ◎： 策定されており、全職員（社員）に周知徹底している ×： 策定されていない、または策定しているが一部の職員しか把握していない	◎	◎	◎	◎
④	経営目標数値を設定する際は、組織構成員が責任をもって参画するとともに、目標を達成するために必要な業務遂行上の権限・責任の明確化を図っているか ◎： 規程等により権限・責任とも明確になっている ○： 規程等により権限のみ明確になっている ×： 明確になっていない	◎	◎	◎	◎
⑤	外部経営環境（社会経済動向・同業他法人の経営活動など）の変化に留意し、経営目標数値と実績を比較、分析して、その結果に応じて改善策や計画を見直すシステム（PDCAマネジメントサイクル）を確立しているか ◎： システムが確立され、かつ十分機能している ○： システムは確立されているが、改善の余地がある ×： システムが確立されていない	◎	◎	◎	◎
⑥	内部統制に関する各種規程等（就業規則、職務分掌規程、決裁規程など）が整備され、かつ定期的に見直しているか ◎： 各種規程等が整備され、毎年度検証している ○： 各種規程等を整備しているが、毎年度検証していない ×： 各種規程等が不十分である、またはほとんど見直ししていない	◎	◎	◎	◎
⑦	法人内部の不正や不規則を発見し、また未然に防ぐことを目的に、内部監査（当該業務担当者以外の者による相互監査）を定期的の実施しているか ◎： 実施要綱等を整備し、毎年度実施している ○： 実施要綱等は整備していないが、毎年度実施している ×： 実施していない	◎	◎	◎	◎
⑧	財務や会計等に関する規則等に則った事務を行っているか また、定期的なチェックを実施しているか ◎： 規則等に則った事務を行っており、定期的なチェックを実施している ○： 規則等に則った事務を行っているが、定期的なチェックは実施していない ×： 規則等に則った事務を行っていない	◎	◎	◎	◎
⑨	コンプライアンス（法令順守）に関する取組を実施しているか （下記の該当項目を□→■） □ コンプライアンスに関する内容を規定している ■ ルールブックやマニュアルを作成し職員に配布する等周知を図っている ■ 職員に対する啓発等研修の場を設定している ■ 業務監査体制を強化する体制整備や取組を行っている □ その他、コンプライアンス経営を充実するための取組を行っている 〔 〕 ◎： 3項目以上 ○： 2～1項目 ×： 0項目	◎	◎	◎	◎

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果				
		第一次点検		第二次点検		
		前年	今年	前年	今年	
⑩ 階層別研修、専門研修及び自己啓発研修などの職員の資質向上並びに優秀な人材の確保を図るための研修を計画的に実施しているか ◎：人材育成計画にもとづき、計画的に研修を実施している ○：人材育成計画は策定していないが、必要な研修を計画的に実施している ×：計画的に研修が行われていない、または研修内容が十分とは言えない		◎	◎	◎	◎	
	⑪ 経営状況、事業内容等を勘案した職員給与制度に関する規程を整備し、適正に運用しているか ◎：法人独自の給与規程を整備し、適正に運用している ○：市給与体系を一部準用した規程を整備し、適正に運用している ×：規程がない、または市給与体系を全部準用した規程を整備している		◎	◎	◎	◎
	⑫ 職員の能力や実績を適正に評価し処遇や給与などに反映させる人事評価制度・給与制度を導入し、適正に運用しているか ◎：人事・給与制度を整備し、適正に運用している ○：整備（検討）中、または各制度はあるが十分機能していない ×：整備予定なし		◎	◎	◎	◎
	⑬ 業務内容、業務量に応じた組織機構の見直し（課・係の再編成、事務分掌の変更等）に取り組んでいるか ◎：毎年度検証し、必要に応じて見直しをしている ×：ほとんど見直ししていない		◎	◎	◎	◎
(イ) 個人情報の保護						
⑭ 個人情報の保護に関する規程等を整備し、公表しているか ◎：規程等を整備し、公表している ○：規程等を整備しているが公表していない ×：策定（検討）中、又は策定予定なし		◎	◎	◎	◎	
(ウ) 再委託の見直し						
⑮ 受託事業の再委託比率が50%を超えていないか ◎：再委託はない、または再委託比率は50%を超えていない ○：50%を超えているが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×：50%を超えており、合理的理由がない	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度		
	再委託比率 (%)	0.0	0.0	0.0		
	<合理的理由>				◎ ◎ ◎ ◎	
⑯ 受託事業の再委託比率が高まっていないか ◎：再委託はない、再委託比率は低下している、または横ばいである ○：上昇傾向にあるが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×：上昇しており、合理的理由がない	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度		
	再委託比率 (%)	0.0	0.0	0.0		
	<合理的理由>				◎ ◎ ◎ ◎	
⑰ 受託事業の再委託にあたっては、外部委託基準（ルール）等を整備するとともに、コスト低減のために入札方式や契約方法を工夫するよう努めているか ◎：再委託はない、または基準等を整備し、コスト低減に努めている ○：基準等は整備していないが、コスト低減に努めている ×：入札方式や契約方法を見直していない		◎	◎	◎	◎	

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
組織運営の健全性 点検結果計（点検項目：17項目）	◎	16	16	16	16
	○	1	1	1	1
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次点検		第二次点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(4) 財務の健全性							
(ア) 財務環境								
① 当期利益を継続的に確保しているか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度	◎	×	◎	×
	当期損益 (千円)	14,832	4,820	▲ 2,128				
◎：十分確保している(当期含め3年連続黒字) ○：確保している(当期のみ黒字) ×：継続的に確保できていない(当期を含め赤字)								
② 累積欠損金を計上していないか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度	◎	◎	◎	◎
	累積損益 (千円)	435,775	440,595	438,467				
◎：累積欠損金はない ○：累積欠損金はあるが、減少傾向にある ×：累積欠損金は横ばい、または増加傾向にある								
③ 自己資本(正味財産)比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度	◎	○	◎	○
	法人設定の適正值 (%)	85.0	85.0	85.0				
	実績値 (%)	88.7	87.6	73.8				
	<適正值の考え方> 過去の実績、今後の見通し等を考慮し、適正值を85%に設定した。							
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある								
④ 流動比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度	◎	◎	◎	◎
	法人設定の適正值 (%)	120.0	120.0	120.0				
	実績値 (%)	566.3	370.0	769.9				
	<適正值の考え方> 流動資産は主に支払のための預貯金、流動負債は主に翌年度入学予定者からの前受授業料、前受入学金である。過去の実績等を考慮し、適正值を120%に設定した。 教育機器等に係る国の補助金は受領が翌年度となるため、毎年度未収金を計上(4年度30,845千円、5年度11,249千円、6年度30,843千円)となり、流動比率の実績値が適正值を大きく上回っている。 なお、未収金を除いた実績値は4年度は446%、5年度344%、6年度は622%となっている。							
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある								
⑤ 借入金割合が適正か	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度	◎	◎	◎	◎
	借入金割合 (%)	0.0	0.0	0.0				
<合理的理由>								
◎：借入金は無い、または横ばい、低くなっている ○：上昇傾向にあるが、合理的理由がある ×：上昇傾向にあり、適正でない								
⑥ 借入金は返済計画どおり着実に返済されているか					◎	◎	◎	◎
◎：借入金は無い、または借入金当初の返済計画どおり返済が可能 ○：当初の返済計画の見直しを行った ×：返済計画の見直しが必要である								

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
⑦	将来の法人運営上必要な経費などを適正に積み立てているか（退職給付引当資産、減価償却引当資産、施設建設積立金など） ◎：適正に積み立てており、不足は生じていない ○：一定程度積み立てているが、経営上重大な不足は生じていない ×：積み立てていない、または経営上重大な不足が生じている	◎	◎	◎	◎
(イ) 資産運用の適正性					
⑧	資産の運用に関する規程（管理運用に係る事務手続き、資金運用体制、資金運用に関する方針や運用基準を明確化したもの）を整備し、適正に運用しているか ◎：規程等にもとづき、適正に運用している ○：規程等は整備していないが、適正な運用に十分留意している ×：不十分であり改善の余地がある	○	○	○	○
(ウ) 財務諸表の適正性					
⑨	一般に公正妥当と認められる企業会計の基準を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【会社法法人】 ◎：企業会計の基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×：不十分であり改善を要する －：（評価対象外）	－	－	－	－
⑨	最新の公益法人会計基準（平成20年改正基準）を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【公益法人】 ◎：最新の公益法人会計基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×：不十分であり改善を要する －：（評価対象外）	◎	◎	◎	◎
⑩	「経理事務精通者による監事への就任」、「経理事務精通者による経理指導・相談体制の構築」、「外部監査制度の導入」により計算書類等の適正化に努めているか ◎：2つ以上に対応している ○：1つに対応している ×：いずれにも対応していない	◎	◎	◎	◎

財務の健全性 点検結果計（点検項目：10項目）	◎	9	7	9	7
	○	1	2	1	2
	×	0	1	0	1

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(5) 透明性				
(ア) 情報公開に関する取組					
① 情報公開に関する規程を整備し、かつ公表しているか					
◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし		◎	◎	◎	◎
② 事業報告や決算報告等は、自ら積極的に公表しているか					
◎： 関係法令等で定められている以上の項目も公表している ○： 関係法令等で定められている項目のみ公表している ×： 関係法令等で定められている項目の一部のみを公表している		◎	◎	◎	◎
③ 公表にあたっては、解説や補足説明を付すなどして市民に分かりやすい公表に努めているか					
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である		◎	◎	◎	◎
④ 公表している事業報告や決算報告等は、法人事務所及び市所管課に備え置くほか、インターネット（HP）も活用して公表しているか					
◎： インターネット（HP）を活用して公表している ○： インターネット（HP）による公表を今期予定している ×： インターネット（HP）による公表を検討中、または予定なし		◎	◎	◎	◎
⑤ 第三セクターとして市民ニーズに応じた、ディスクロージャー（情報公開）及びアカウンタビリティ（説明責任）に努めているか					
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である		◎	◎	◎	◎

透明性 点検結果計（点検項目：5項目）	◎	5	5	5	5
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果				
		第一次点検		第二次点検		
		前年	今年	前年	今年	
評価項目	(6) 自立性					
(ア) 経営に対する市の関与						
① 市からの収入（競争によらないもの）割合は上昇傾向になっていないか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度		
	市からの収入（競争によらないもの）割合（%）	0.2	0.3	0.3		
<合理的理由>					○	○
◎：市からの収入（競争によらないもの）はない、または割合は低下傾向にある ○：割合は横ばいである、または割合は上昇傾向にあるが合理的な理由がある ×：割合は上昇傾向にある					○	○
② 自主財源の確保に向けた取組を実施し、かつその成果は向上しているか	点検指標名	R4年度	R5年度	R6年度		
	入学生数（人）	79	58	65		
<取組事例の主なもの> 入学生の確保に向け、新しい専攻科を導入し、そのPRに努めた。また、高校訪問、オープンキャンパスの回数を増やすと共に、訪問時の持参資料を見直し、効果の向上に努めている。また、進路ガイダンスの参加回数を増やす等、高校生への直接アプローチの強化を図った。高校への出前授業等にも積極的に参加する等、PRの強化に努めている。					◎	◎
◎：積極的に取り組んでおり、一定の成果をあげている ○：積極的に取り組んでいるものの、成果にはつながっていない ×：取り組んでいない					◎	◎
③ 補助金については、対象とする事業の公益性を十分に勘案するとともに、その成果等を的確に評価することにより見直しを図っているか					◎	◎
◎：補助金はない、または成果等を的確に評価し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する					◎	◎
④ 委託料等については、市として期待する成果をあらかじめ明確にするとともに、額の算定にあたっては、類似民間事業者とも比較・検証し、見直しを図っているか					◎	◎
◎：委託料等はない、または毎年度検証し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する					◎	◎
⑤ 市からの派遣職員はいない、または派遣を要請する場合でも、派遣目的・職務・人数・期間等に関する必要性を明確にするとともに、必要最小限に止めているか					◎	◎
◎：市職員の派遣はない、または十分留意し、必要最小限に努めている ×：不十分であり改善を要する					◎	◎
⑥ 役員の選任については、職務権限や責任にふさわしい人材や、民間の経営ノウハウを有した人材などの登用に努めているか					◎	◎
◎：必要に応じて積極的に民間登用に努めている ×：市職員兼務、市職員OBが大半を占めている					◎	◎
⑦ 市所管課からの指導等や第三セクター経営評価委員会からの提言等について積極的に対応しているか	取組事例の主なもの					
	市所管課とは随時協議している。また、経営評価委員会の提言等への対応については、経営改善計画に基づき、HPによる情報公開、PDCAの定着化、内部監査の実施等に取組んでいるほか、入学生募集については経営戦略プランに施策・強化策を掲げ、最重要課題として取り組んでいる。					◎
◎：十分に対応している ○：十分に対応している項目が多い ×：十分に対応していない					◎	◎

自立性 点検結果計（点検項目：7項目）	◎	6	6	6	6
	○	1	1	1	1
	×	0	0	0	0